

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2017年3月23日(23.03.2017)



(10) 国際公開番号
WO 2017/046877 A1

- (51) 国際特許分類:
A44C 27/00 (2006.01) *B32B 27/00* (2006.01)
B32B 7/12 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2015/076221
- (22) 国際出願日: 2015年9月16日(16.09.2015)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 株式会社トレミール(TREMEAL INC.)
[JP/JP]; 〒1070052 東京都港区赤坂三丁目20番
2号 T r e m e a l ビル Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 茶谷 幸司(CHATANI Kouji); 〒1070052
東京都港区赤坂三丁目20番2号 T r e m e a
l ビル 株式会社トレミール内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 特許業務法人 J A Z Y 国際特許事務所
(JAZY INTERNATIONAL PATENT FIRM); 〒
1070052 東京都港区赤坂6丁目18番11号
ストーリー赤坂407号 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,
BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,
CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES,

FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN,
IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR,
LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX,
MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH,
PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK,
SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保
護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW,
MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユー
ラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨー
ロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE,
ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC,
MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR),
OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM,
ML, MR, NE, SN, TD, TG).

規則 4.17 に規定する申立て:

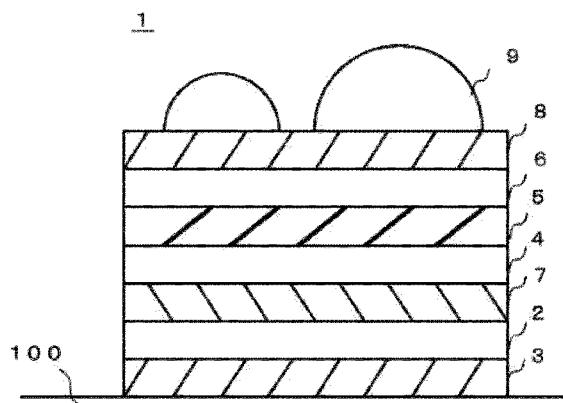
- 不利にならない開示又は新規性喪失の例外に関
する申立て (規則 4.17(v))

添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

(54) Title: ORNAMENT

(54) 発明の名称: 装飾具



(57) **Abstract:** This ornament has good design characteristics, maintains adhesiveness even when repeatedly attached and detached and used a plurality of times, and has an application surface that is gentle on the skin with low irritability. This ornament is provided with: a substrate (2) having an adhesive layer (3) formed on one surface thereof; a sheet layer (4) which is attached to the other surface of the substrate (2) with the adhesive layer (7) therebetween, has a print layer (5) formed on one surface thereof with the other surface facing the second adhesive layer (7), and has a protective layer (6) formed on the print layer (5); and an ornamental piece (9) attached to the protective layer (6) of the sheet layer (4) with an adhesive layer (8) therebetween. The adhesive layer (3) comprises a silicon-based material and forms a surface for attaching to a user (100).

(57) 要約:

[続葉有]

WO 2017/046877 A1



本発明は、デザイン性が高く、繰り返し脱着して複数回利用しても粘着力が維持され、貼付面が低刺激性で皮膚にやさしい装飾具である。一方の面に粘着層（３）が形成された基材（２）と、基材（２）の他方の面に粘着層（７）を介して貼り付けられるもので第２粘着層（７）とは反対の面に印刷層（５）が形成され該印刷層（５）の上に保護層（６）が形成されたシート層（４）と、シート層（４）の保護層（５）の上に粘着層（８）を介して貼り付けられる装飾片（９）とを備え、粘着層（３）はシリコーン系素材からなり利用者（１００）への貼り付け面を形成する。

明 細 書

発明の名称： 装飾具

技術分野

[0001] 本発明は、例えばフェイスシール等の装飾具に関する。

背景技術

[0002] 従来、スポーツ観戦やコンサート鑑賞においては、日常とは違うエキサイティングな場の雰囲気盛り上げ、自らもその雰囲気を十分に満喫するために、普段よりも派手なメイキャップを施す人が多い。そして、最近では、ボディペイント等をする代わりに、簡易に着脱できるフェイスシール等の装飾具が用いられている。

[0003] このような装飾具として、例えば特許文献1では、基材付装飾品が開示されている。この装飾品では、粘着剤層上に装飾用部品が付着され、一体化されている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2001-37511号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] しかしながら、特許文献1の装飾品では、一般的な貼着剤を用いており、繰り返しの脱着については想定されておらず、粘着力の低下から繰り返しの使用はできなかった。さらに、装飾片の粘着剤による付着のみによる装飾であったことから、採用できるデザイン選択の自由度はあまり高くなかった。

[0006] 本発明は、このような課題に鑑みてなされたものであり、デザイン性が高く、繰り返し脱着して複数回利用しても粘着力が維持され、貼付面が低刺激性で皮膚にやさしい装飾具を提供することを目的としている。

課題を解決するための手段

[0007] 上記課題を解決するために、本発明の第1の態様に係る装飾具は、一方の

面に第1粘着層が形成された基材と、前記基材の他方の面に第2粘着層を介して貼り付けられるシート層と、前記シートの上に第3粘着層を介して貼り付けられる装飾片と、を備え、前記第1粘着層はシリコン系素材からなり利用者への貼り付け面を形成する。

[0008] 本発明の第2の態様に係る装飾具は、一方の面に第1粘着層が形成された基材と、前記基材の他方の面に第2粘着層を介して貼り付けられるシート層と、を備え、前記シート層の前記第2粘着層を介して前記基材の他方の面に貼り付けられる面とは反対の面には印刷層が形成され、前記印刷層の上に保護層が形成され、前記第1粘着層はシリコン系素材からなり利用者への貼り付け面を形成する。

[0009] さらに、本発明の第3の態様に係る装飾具の製造方法は、一方の面に第1粘着層が形成された基材の他方の面に、シート層を、第2粘着層を介して貼り付けるステップと、前記基材及びシート層を型抜きするステップと、前記シート層の上に第3粘着層を介して装飾片を貼り付けるステップと、を有し、前記第1粘着層をシリコン系素材として利用者が繰り返し利用可能な貼付面を形成する。

[0010] 本発明の第4の態様に係る装飾具の製造方法は、一方の面に第1粘着層が形成された基材の他方の面に、シート層を、第2粘着層を介して貼り付けるステップと、前記基材及びシート層を型抜きするステップと、を有し、前記シート層の前記第2粘着層を介して前記基材の他方の面に貼り付けられる面とは反対の面には印刷層が形成され、前記印刷層の上に保護層が形成され、前記第1粘着層はシリコン系素材からなり利用者への貼り付け面を形成する。

発明の効果

[0011] 本発明によれば、デザイン性が高く、繰り返し脱着して複数回利用しても粘着力が維持され、貼付面が低刺激性で皮膚にやさしい装飾具を提供することができる。

図面の簡単な説明

[0012] [図1]本発明の一実施形態に係る装飾具の構成図である。

[図2]本発明の一実施形態に係る装飾具の製造工程を示す図である。

[図3]本発明の一実施形態に係る装飾具の構成例を示す図である。

発明を実施するための形態

[0013] 以下、図面を参照しつつ本発明の実施形態について説明する。

[0014] 図1には、本発明の一実施形態に係る装飾具の構成を示し説明する。

[0015] 同図に示されるように、装飾具1では、ポリエステルフィルム等からなる基材2の一方の面にはシリコン系素材からなる粘着層3が形成されている。この粘着層3が人物の皮膚等の対象物100に対して引き剥がし可能な貼付面となる。樹脂系素材等からなるシート層4は、一方の面に印刷層5が形成され、更に印刷層5の上に樹脂系素材からなる保護層6が形成されている。この例では、シート層4としてホログラムシート層を採用しているが、これには限定されない。

[0016] シート層4の上記印刷層5の形成側とは反対側の面は、アクリル系素材からなる粘着層7を介して、基材2の上記粘着層3の形成側とは反対側の面に貼り合わされている。この貼り合わせの後、所定のデザイン形状になるように型抜きされ、保護層6の上にシリコン系素材からなる粘着層8を介して装飾片9を貼り付けている。

[0017] 基材2と粘着層3は、一体化されたシリコン粘着テープを採用することができる。例えば、スリーエムヘルスケア（株）のシリコン粘着テープ（製造番号2475P）を採用する場合、基材は15 μ mポリエステルフィルム、テープ厚は0.12（mm）、粘着力は0.3（N/cm）となる。シリコン粘着テープは、薄くて柔らかく、低刺激性で肌に優しいことを特徴としている。

[0018] シート層4としては、ホログラムシート層を採用することができる。ホログラムシート層は、自然光や照明光の照射により虹色に輝く特質を有する。ホログラムシート層は、光を当てたときに所定の文字や模様が浮かび上がるように構成することもできる。シート層4は、このホログラムシート層のほ

か、カッティングシール層、蒸着シール層、及び樹脂や紙などの基盤シート層等を採用することもできる。また、薄い金属箔や木材や石等を薄くスライスしたのも採用することができる。

[0019] 印刷層 5 は、各種印刷がなされる層である。印刷としては、凸版印刷、UV 印刷、シルク印刷、又はその他特殊な印刷を採用することができる。凸版印刷とは、表面に凹凸のある版の凸部分にインキを載せて転写する印刷方式である。UV 印刷とは、インキを紫外線により効果させる印刷方式である。そして、シルク印刷とは、版材にシルクの布を使った印刷方式である。

[0020] 保護層 6 としては、熱可塑性の合成繊維であるポリエチレンテレフタレート (PET ; polyethylene terephthalate) 等の樹脂系素材が採用される。このほか、延伸ポリプロピレン (OPP ; oriented polypropylene) やポリ塩化ビニル (PVC ; polyvinyl chloride) 等の樹脂系素材を用いてもよい。

[0021] 粘着層 7 としては、アクリル系素材の接着剤を採用することができる。このほか、シリコーン系、ポリウレタン系、又はゴム系の接着剤を採用することもできる。なお、この実施形態に係るフェイスシール 1 では、基材 2 の表面に粘着層 7 としてのアクリル系素材の接着剤を塗布してシート層 4 を貼り付ける方法を採用している。ゆえに、基材 2 とシート層 4 との間に気泡が入り込むことはない。

[0022] 粘着層 8 としては、シリコーン系素材の接着剤を採用することができる。このほか、ポリウレタン系、アクリル系、又はゴム系の接着剤を採用することもできる。装飾片 9 を接着する際には、保護層 6 の表面に粘着層 8 としてのシリコーン系素材の接着剤を塗布してその上に装飾片 9 を貼り付けていく。

[0023] 装飾片 9 には、クリスタルガラス、アクリル等の各種樹脂、金属、木材、天然宝石、又はセラミック等を、所定の形状に成型した成形物を採用することができる。装飾用の人工宝石、模造宝石等、又は上記成形物の小片も採用可能である。色についても、特に限定されず、有色であっても、無色透明、有色透明、半透明、白、又は黒等であってもよい。

[0024] このように、実施形態に係る装飾具 1 では、シート層 4 のホログラム、印刷層 5 の印刷内容、及び装飾片 9 の選択、所望とする組み合わせで、多種多様なデザインのフェイスシールを実現することができる。更に、装飾片 9 を貼り付けた後の全体の重量に対しても粘着層 3 は繰り返しの使用に耐え得るだけの粘着力を発揮している。

[0025] ここで、「JIS Z 0237 : 2009 粘着テープ・粘着シート試験方法 10 粘着力 10.3 試験方法 方法 1 テープ及びシートをステンレス試験板に対して180° 引きはがす試験方法」による測定の結果を以下にまとめる。

[表1]

試験項目	単位	n	測定値
180° 引き剥がし粘着力	N/25mm	1	1. 5
		2	1. 3
		3	1. 5
		4	1. 4
		5	1. 4
		平均	1. 4
	N/10mm	換算値	0. 5 6

上記表 1 から、本実施形態に係る装飾具 1 では、引き剥がし回数が増す過程でも測定値、つまり粘着力は維持されていることが明らかになった。

[0026] 次に、図 2 のフローチャートを参照して、本発明の一実施形態に係る装飾具の製造工程を詳細に説明する。

[0027] 先ず、シート層 4 の表面に印刷層 5 を形成する（S 1）。例えば、シート層 4 としてホログラムシート層を採用する場合には、当該ホログラムシート層に所定の意匠に係る印刷を実施することで、印刷層 5 を形成する。印刷手法については、前述したとおり、多種多様な印刷手法を採用することができる。

[0028] 次いで、シート層 4 の表面に形成された印刷層 5 の上に保護層 6 を形成する（S 2）。例えば、保護層 6 として P E T 等の樹脂素材を用いる場合には、印刷層 5 の表面に P E T 等の樹脂によるコーティングを行うことになる。

保護層 6 の形成により、印刷層 5 の意匠印刷部分の耐久性が向上し、保護される。樹脂によるコーティングのほか、薄い紙を貼り付けることで保護層 6 を形成するようにしてもよい。

[0029] 続いて、基材 2 の粘着層 3 の形成領域とは反対側の表面に、粘着層 7 を塗布し、粘着層 7 の上から、印刷層 5 及び保護層 6 が積層されたシート層 4 を貼り付ける（S 3）。この貼り合わせ時に、気泡などが発生していないか確認しておく。なお、基材 2 と粘着層 3 とが一体となったシリコーン粘着テープを用いることができる。

[0030] 次いで、意匠にそって型抜きを行う（S 4）。より詳細には、上記ステップ S 3 までの工程で、粘着層 3、基材 2、粘着層 7、シート層 4、印刷層 5、及び保護層 6 が積層された中間生産物ができているが、当該中間生産物を、意匠にそって型抜きする。尚、使用用途によっては、意匠に沿わず、大きく型抜きなどを行ってもよい。また、この型抜きの際には、商品に不要な部分を取り除くようにしてよい。この工程でも、貼り合わせ不良による気泡や版ズレなどを確認しておく。

[0031] 続いて、装飾加工を行う（S 5）。より詳細には、保護層 6 の上に粘着層 8 を形成して装飾片 9 を貼り付ける。例えば、粘着層 8 として、シリコーン系素材の接着剤を用いる場合には、保護層 6 の上に当該接着剤を塗布する。そして、クリスタルガラス、アクリル等の各種樹脂、金属、木材、又はセラミック等を、所定の形状に成型した成形物等を接着剤の上に載せて貼り付ける。

[0032] こうして最後に検品を行う（S 6）。この検品の際には、先のステップで気泡が発見された場合など所定の基準を満たさないものを除外していく。こうして、装飾具 1 の生産に係る一連の工程を終了する。

[0033] 従って、本実施形態によれば、シート層 4 の上に印刷層 5 を形成し当該印刷層 5 の上に保護層 6 を形成するステップと、一方の面に第 1 粘着層としての粘着層 3 が形成された基材 2 の他方の面にシート層 4 を第 2 粘着層としての粘着層 7 を介して貼り付けるステップと、基材 2 及びシート層 4 を型抜き

するステップと、保護層 6 の上に第 3 粘着層としての粘着層 8 を介して装飾片 9 を貼り付けるステップとを有し、第 1 粘着層をシリコン系素材として利用者が繰り返し利用可能な貼付面を形成する装飾具の製造方法が提供されることになる。

[0034] 最後に、図 3 には、本発明の一実施形態に係る装飾具 1 としてのフェイスシールの構成例を示す。同図に示されるように、この装飾具 1 においても、表面から見たときに、シート層 4 のホログラムと、印刷層 5 による印刷と、装飾片 9 による装飾と、が重なって、全体で 1 つの意匠を構成している。ホログラム、印刷、装飾の組み合わせにより意匠が構成されるので、デザインの自由度は極めて高いといえる。

[0035] 以上、本発明の一実施形態について説明したが、本発明はこれに限定されることなくその趣旨を逸脱しない範囲で種々の改良・変更が可能であることは勿論である。例えば、印刷層に企業のロゴやプロダクトネーム等を印刷して、フェイスシール等の装飾具を宣伝広告用の商材とすることもできる。

符号の説明

- [0036]
- 1 装飾具
 - 2 基材
 - 3 粘着層
 - 4 シート層
 - 5 印刷層
 - 6 保護層
 - 7 粘着層
 - 8 粘着層
 - 9 装飾片

請求の範囲

- [請求項1] 一方の面に第1粘着層が形成された基材と、
前記基材の他方の面に第2粘着層を介して貼り付けられるシート層と、
前記シートの上に第3粘着層を介して貼り付けられる装飾片と、を
備え、
前記第1粘着層はシリコン系素材からなり利用者への貼り付け面を形成する
装飾具。
- [請求項2] 前記シート層は、ホログラムシート層である
請求項1に記載の装飾具。
- [請求項3] 前記装飾片は、クリスタルガラス、樹脂、金属、木材、又はセラミックを、所定の形状に成型した成形物、あるいは当該成形物の小片からなる
請求項1に記載の装飾具。
- [請求項4] 前記シート層の前記第2粘着層を介して前記基材の他方の面に貼り付けられる面とは反対の面には印刷層が形成され、前記印刷層の上に保護層が形成され、前記保護層の上に前記第3粘着層を介して装飾片が貼り付けられている
請求項1乃至3のいずれか1項に記載の装飾具。
- [請求項5] 一方の面に第1粘着層が形成された基材と、
前記基材の他方の面に第2粘着層を介して貼り付けられるシート層と、を備え、
前記シート層の前記第2粘着層を介して前記基材の他方の面に貼り付けられる面とは反対の面には印刷層が形成され、前記印刷層の上に保護層が形成され、
前記第1粘着層はシリコン系素材からなり利用者への貼り付け面を形成する

装飾具。

[請求項6] 一方の面に第1粘着層が形成された基材の他方の面に、シート層を、第2粘着層を介して貼り付けるステップと、
前記基材及びシート層を型抜きするステップと、
前記シート層の上に第3粘着層を介して装飾片を貼り付けるステップと、を有し、

前記第1粘着層をシリコン系素材として利用者が繰り返し利用可能な貼付面を形成する、装飾具の製造方法。

[請求項7] 前記シート層は、ホログラムシート層である
請求項6に記載の装飾具の製造方法。

[請求項8] 前記装飾片は、クリスタルガラス、樹脂、金属、木材、又はセラミックを、所定の形状に成型した成形物、あるいは当該成形物の小片からなる

請求項7に記載の装飾具の製造方法。

[請求項9] 前記シート層の上に印刷層を形成し、当該印刷層の上に保護層を形成するステップを更に有しており、

前記装飾片を貼り付けるステップでは、前記保護層の上に第3粘着層を介して前記装飾片が貼り付けられる

請求項6乃至請求項8のいずれか1項に記載の装飾具の製造方法。

[請求項10] 一方の面に第1粘着層が形成された基材の他方の面に、シート層を、第2粘着層を介して貼り付けるステップと、

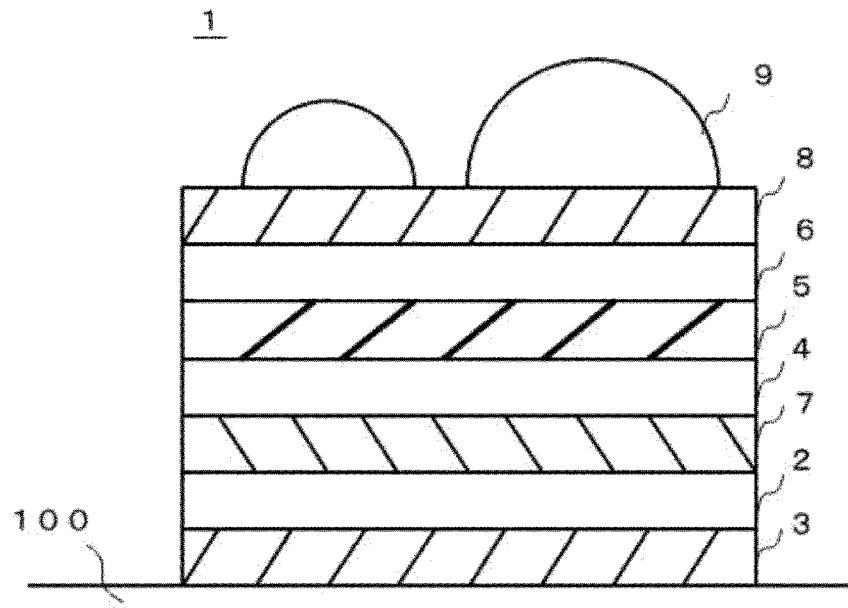
前記基材及びシート層を型抜きするステップと、を有し、

前記シート層の前記第2粘着層を介して前記基材の他方の面に貼り付けられる面とは反対の面には印刷層が形成され、前記印刷層の上に保護層が形成され、

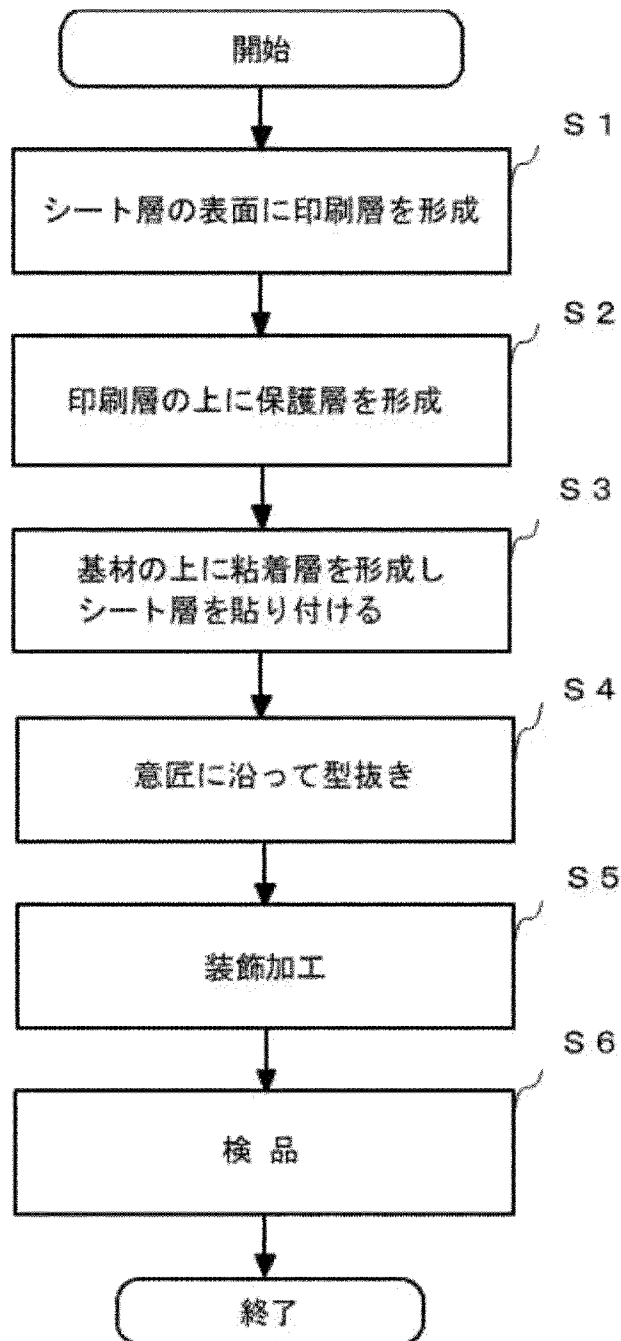
前記第1粘着層はシリコン系素材からなり利用者への貼り付け面を形成する

装飾具の製造方法。

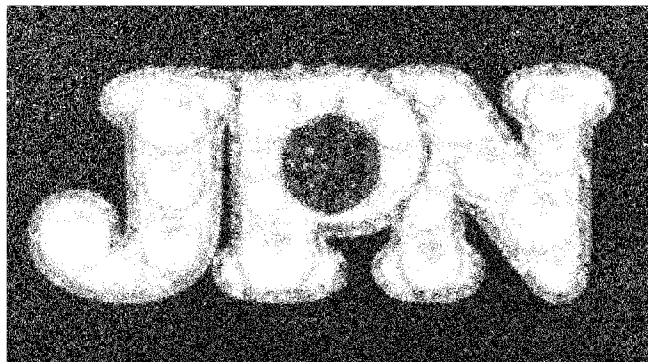
[図1]



[図2]



[図3]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/076221

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A44C27/00(2006.01)i, B32B7/12(2006.01)i, B32B27/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A44C27/00, B32B7/12, B32B27/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2015
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2015	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2015

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2014-50966 A (Bn, Inc.), 20 March 2014 (20.03.2014), paragraphs [0001], [0011] to [0033]; fig. 1 to 4 (Family: none)	1-10
Y	JP 5667318 B1 (Keigo TAKIYA), 12 February 2015 (12.02.2015), paragraphs [0026] to [0031], [0041]; fig. 2 (Family: none)	1-10
Y	JP 7-40504 Y2 (Dainippon Printing Co., Ltd.), 20 September 1995 (20.09.1995), fig. 1, 2 (Family: none)	2, 7



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
08 December 2015 (08.12.15)

Date of mailing of the international search report
22 December 2015 (22.12.15)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/076221

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2001-145510 A (Kabushiki Kaisha Kansai Seibun), 29 May 2001 (29.05.2001), entire text; all drawings (Family: none)	1-10
A	JP 2004-34304 A (Malay Corp.), 05 February 2004 (05.02.2004), entire text; all drawings (Family: none)	1-10

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C）） Int.Cl. A44C27/00(2006.01)i, B32B7/12(2006.01)i, B32B27/00(2006.01)i			
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C）） Int.Cl. A44C27/00, B32B7/12, B32B27/00			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1 9 2 2 - 1 9 9 6 年 日本国公開実用新案公報 1 9 7 1 - 2 0 1 5 年 日本国実用新案登録公報 1 9 9 6 - 2 0 1 5 年 日本国登録実用新案公報 1 9 9 4 - 2 0 1 5 年			
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）			
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号	
Y	JP 2014-50966 A (株式会社ビー・エヌ) 2014.03.20, [0 0 0 1], [0 0 1 1] - [0 0 3 3], 図1 - 4 (ファミリーなし)	1 - 1 0	
Y	JP 5667318 B1 (瀧谷 啓吾) 2015.02.12, [0 0 2 6] - [0 0 3 1], [0 0 4 1], 図2 (ファミリーなし)	1 - 1 0	
Y	JP 7-40504 Y2 (大日本印刷株式会社) 1995.09.20, 第1図, 第2図 (ファミリーなし)	2, 7	
☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。 ☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。			
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献			
国際調査を完了した日 0 8 . 1 2 . 2 0 1 5		国際調査報告の発送日 2 2 . 1 2 . 2 0 1 5	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (I S A / J P) 郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官（権限のある職員） 山内 康明 電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 3 2	3 K 9 2 5 5

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2001-145510 A (株式会社関西セイブン) 2001.05.29, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-10
A	JP 2004-34304 A (マレー株式会社) 2004.02.05, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-10